



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月31日

上場会社名 株式会社イエローハット 上場取引所 東
 コード番号 9882 URL <https://www.yellowhat.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀江 康生
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経理部長 (氏名) 木村 昭夫 (TEL) 03-6866-0163
 四半期報告書提出予定日 2023年11月6日 配当支払開始予定日 2023年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	66,975	0.9	5,235	△10.5	6,012	△4.0	4,067	△3.5
2023年3月期第2四半期	66,392	0.1	5,849	35.4	6,262	33.5	4,216	32.2

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 5,380百万円(30.1%) 2023年3月期第2四半期 4,134百万円(20.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	88.04	87.69
2023年3月期第2四半期	91.33	90.96

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	139,762	110,682	79.1	2,391.57
2023年3月期	136,442	106,710	78.1	2,306.50

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 110,519百万円 2023年3月期 106,532百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	31.00	—	31.00	62.00
2024年3月期	—	33.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	33.00	66.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	1.9	15,500	1.6	16,500	1.2	10,700	0.3	231.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	49,923,146株	2023年3月期	49,923,146株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	3,711,034株	2023年3月期	3,735,146株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	46,196,023株	2023年3月期2Q	46,167,467株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、2023年11月8日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当期の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に引き下げられたことで行動制限が解除され、経済活動の正常化が進みました。しかしながら一方で、エネルギー価格や原材料価格の上昇、為替相場の変動、これらを要因とした物価上昇など、個人消費マインドを低下させる懸念材料があり、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当カー用品業界におきましては、旅行や帰省をはじめとしたドライブ需要の回復により、タイヤやオイル、バッテリーなどの消耗品販売が堅調に推移いたしました。

このような環境下におきまして、当社グループでは、経営戦略方針の一つであるタイヤを中心とした消耗品の拡販や、取付・整備作業やメンテナンスメニューを拡充してまいりました。また、新たな取り組みとして、顧客の利便性及び満足度の向上と新規顧客拡大を目指し、2023年9月より楽天ポイントカードの取扱いを開始いたしました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、タイヤやオイル、バッテリーなど消耗品の販売堅調と車検工賃収入の増加等がありました。一方で、コロナ禍で高まっていたバイク関連需要に陰りがみられ、バイク用品販売の低調等の影響もあり、売上高は669億75百万円（前年同期比100.9%、5億82百万円増）、売上総利益は291億1百万円（前年同期比100.7%、1億92百万円増）と前年同期比微増に留まりました。

販売費及び一般管理費は、新規出店等の設備投資に伴う減価償却費の増加や、人件費をはじめとした店舗運営コストの上昇等により、前年同期を上回る238億65百万円（前年同期比103.5%、8億6百万円増）となりました。

その結果、営業利益は52億35百万円（前年同期比89.5%、6億13百万円減）、経常利益は60億12百万円（前年同期比96.0%、2億50百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては40億67百万円（前年同期比96.5%、1億49百万円減）となりました。

売上高の主な部門別内訳につきましては、小売部門は422億66百万円（前年同期比101.7%、7億22百万円増）、卸売部門は198億58百万円（前年同期比99.4%、1億23百万円減）となりました。

②当期のセグメント別概況

当第2四半期連結累計期間の事業の種類別セグメント別の概要は次のとおりであります。

<カー用品・二輪用品等販売事業>

当第2四半期連結累計期間におけるイエローハット店舗の出退店の状況です。

2023年4月にゆめモール西条店（広島県）、5月にトレッド栃木足利店（栃木県）、トレッド沖縄宜野湾店（沖縄県）、袋井川井店（静岡県）、6月に（新）トレッド山形店（山形県）、9月に中和幹線桜井店（奈良県）の計6店舗を開店、2023年4月に広島可部店（広島県）、トレッド山形店（山形県）、5月に袋井店（静岡県）、8月に小牧店（愛知県）、9月に八軒店（北海道）、押熊店（奈良県）、網走大曲店（北海道）、大津堅田店（滋賀県）の計8店舗を閉店いたしました。

イエローハット店舗以外では、2023年6月にカワサキプラザ山形（山形県）、カワサキプラザ秋田（秋田県）、8月に久留米2りんかん（福岡県）、バイク館久留米インター店（福岡県）、9月に浜松2りんかん（静岡県）、バイク館浜松有玉店（静岡県）の計6店を開店いたしました。また、2023年4月に2りんかんイエローハット車検センター座間工場（神奈川県）を開設、9月にイエローハットコイン洗車場八軒（北海道）を閉鎖いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、イエローハット737店舗、2りんかん61店舗、バイク館（カワサキプラザ含む）67店舗の合計865店舗、イエローハット車検センターが8店舗、イエローハットコイン洗車場が12店となりました。

当第2四半期連結累計期間のカー用品・二輪用品等販売事業の売上高は、639億88百万円（前年同期比100.9%、5億57百万円増）、セグメント利益につきましては、45億1百万円（前年同期比86.2%、7億17百万円減）となりました。

<賃貸不動産事業>

当第2四半期連結累計期間の賃貸不動産事業の売上高は、29億86百万円（前年同期比100.8%、25百万円増）、セグメント利益につきましては、7億34百万円（前年同期比116.6%、1億4百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、470億39百万円（前連結会計年度末517億79百万円）となり、47億40百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が66億11百万円、受取手形及び売掛金が22億71百万円減少した一方で、棚卸資産が37億34百万円増加したことによります。

また、固定資産の残高は927億23百万円（前連結会計年度末846億63百万円）となり、80億59百万円増加いたしました。これは主に土地が27億81百万円、有形固定資産のその他（純額）（建設仮勘定など）が18億84百万円、投資有価証券が18億73百万円、建物及び構築物（純額）が15億57百万円増加したことによります。

この結果、総資産残高は1,397億62百万円（前連結会計年度末1,364億42百万円）となりました。

②負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、238億15百万円（前連結会計年度末246億21百万円）となり、8億6百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が18億47百万円、未払法人税等が2億86百万円減少した一方で、短期借入金が16億円増加したことによります。

また、固定負債の残高は52億64百万円（前連結会計年度末51億9百万円）となり、1億54百万円増加いたしました。

この結果、負債残高は290億79百万円（前連結会計年度末297億31百万円）となりました。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、1,106億82百万円（前連結会計年度末1,067億10百万円）となり、39億71百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益40億67百万円を計上したこと、その他有価証券評価差額金が13億1百万円増加した一方で、配当金を14億32百万円支払ったことによります。

④キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ66億11百万円減少し、16億39百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の収入は、14億94百万円（前年同期は28億42百万円の資金の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が59億65百万円、売上債権の減少が25億62百万円、減価償却費が13億10百万円あった一方で、棚卸資産の増加が43億92百万円、法人税等の支払額が23億93百万円、仕入債務の減少が7億89百万円あったことによります。

＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の支出は、77億70百万円（前年同期は62億86百万円の資金の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が74億63百万円あったことによります。

＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の支出は、3億36百万円（前年同期は13億38百万円の資金の支出）となりました。これは主に、短期借入金の増加が13億85百万円あった一方で、配当金の支払額が14億32百万円あったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2023年5月9日に公表いたしました数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,266	1,655
受取手形及び売掛金	10,424	8,153
棚卸資産	25,451	29,185
その他	7,841	8,272
貸倒引当金	△205	△227
流動資産合計	51,779	47,039
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	48,813	51,061
減価償却累計額	△25,922	△26,612
建物及び構築物（純額）	22,891	24,449
土地	37,395	40,176
その他	11,109	13,288
減価償却累計額	△6,821	△7,115
その他（純額）	4,288	6,173
有形固定資産合計	64,575	70,798
無形固定資産		
ソフトウェア	1,024	1,292
その他	477	478
無形固定資産合計	1,501	1,770
投資その他の資産		
投資有価証券	6,294	8,167
敷金	7,532	7,409
その他	5,029	4,849
貸倒引当金	△270	△273
投資その他の資産合計	18,586	20,153
固定資産合計	84,663	92,723
資産合計	136,442	139,762

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,226	9,379
短期借入金	—	1,600
未払法人税等	2,571	2,285
契約負債	1,607	1,540
賞与引当金	1,348	1,351
その他	7,867	7,657
流動負債合計	24,621	23,815
固定負債		
退職給付に係る負債	93	113
リース債務	96	82
資産除去債務	3,093	3,106
その他	1,826	1,962
固定負債合計	5,109	5,264
負債合計	29,731	29,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,072	15,072
資本剰余金	10,471	10,495
利益剰余金	83,466	86,101
自己株式	△2,210	△2,196
株主資本合計	106,799	109,472
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,557	2,859
土地再評価差額金	△1,907	△1,907
為替換算調整勘定	86	98
退職給付に係る調整累計額	△3	△3
その他の包括利益累計額合計	△266	1,046
新株予約権	170	162
非支配株主持分	7	0
純資産合計	106,710	110,682
負債純資産合計	136,442	139,762

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	66,392	66,975
売上原価	37,484	37,874
売上総利益	28,908	29,101
販売費及び一般管理費	23,059	23,865
営業利益	5,849	5,235
営業外収益		
受取利息	20	18
受取手数料	161	178
違約金収入	—	212
その他	327	423
営業外収益合計	509	833
営業外費用		
支払利息	2	2
持分法による投資損失	63	39
その他	30	14
営業外費用合計	96	56
経常利益	6,262	6,012
特別利益		
固定資産売却益	2	4
負ののれん発生益	—	9
退職給付制度終了益	8	—
特別利益合計	11	14
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	8	1
減損損失	43	59
特別損失合計	52	61
税金等調整前四半期純利益	6,222	5,965
法人税、住民税及び事業税	2,084	2,106
法人税等調整額	△78	△208
法人税等合計	2,005	1,898
四半期純利益	4,216	4,066
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,216	4,067

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
四半期純利益	4,216	4,066
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△92	1,296
退職給付に係る調整額	△17	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	28	16
その他の包括利益合計	△81	1,313
四半期包括利益	4,134	5,380
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,134	5,380
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,222	5,965
減価償却費	1,154	1,310
減損損失	43	59
違約金収入	—	△212
負ののれん発生益	—	△9
のれん償却額	1	2
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	20	25
賞与引当金の増減額 (△は減少)	25	△4
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2	0
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△6	—
受取利息及び受取配当金	△117	△116
支払利息	2	2
為替差損益 (△は益)	△2	△1
持分法による投資損益 (△は益)	63	39
退職給付制度終了益 (△は益)	△8	—
固定資産売却損益 (△は益)	△2	△4
固定資産除却損	8	1
売上債権の増減額 (△は増加)	2,092	2,562
仕入債務の増減額 (△は減少)	308	△789
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,020	△4,392
契約負債の増減額 (△は減少)	△15	△85
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△320	△260
その他	△125	△315
小計	5,324	3,778
利息及び配当金の受取額	105	106
利息の支払額	△2	△2
法人税等の支払額	△2,595	△2,393
法人税等の還付額	9	4
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,842	1,494

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,100	△7,463
有形固定資産の売却による収入	5	5
無形固定資産の取得による支出	△263	△433
投資有価証券の取得による支出	△102	△3
連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による収入	—	154
貸付けによる支出	—	△0
貸付金の回収による収入	1	2
敷金及び保証金の差入による支出	△68	△34
敷金及び保証金の回収による収入	65	38
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	177	△34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,286	△7,770
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	1,385
長期借入金の返済による支出	—	△288
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△1,338	△1,432
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,338	△336
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,782	△6,612
現金及び現金同等物の期首残高	10,902	8,251
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,120	1,639

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	カー用品・ 二輪用品等 販売事業	賃貸不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	63,431	2,961	66,392	—	66,392
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	63,431	2,961	66,392	—	66,392
セグメント利益	5,219	630	5,849	—	5,849

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	カー用品・ 二輪用品等 販売事業	賃貸不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	63,988	2,986	66,975	—	66,975
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	63,988	2,986	66,975	—	66,975
セグメント利益	4,501	734	5,235	—	5,235

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。